

ハードウェアからソフトウェアまで、愛媛大学のeラーニング情報を中心に、幅広くお届けします。



学生と教員との 双方向コミュニケーションの サポーター「クリッカー」

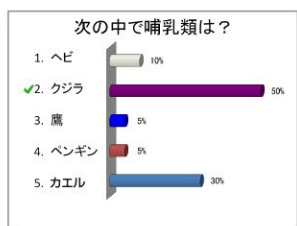
クリッカーの魅力

クリッカーを使うと、受講生の理解度を簡単に把握することができます。理解度が分かると、臨機応変な授業運営が可能になります。また、受講生が意思表示しやすいツールであるため、授業の最初に使用することで、それぞれの立場や参加の目的を知ることもでき、場の雰囲気理解した上での効率良い授業が行えます。

クリッカー活用の流れ

授業でクリッカーを使用する場合、教員はあらかじめ質問スライドを作成しておき、授業時にそのスライドを表示します。受講生は、その質問に対し、「クリッカー」のボタンを押して回答するというとてもシンプルな仕組みです。回答結果は瞬時に集計され、グラフ化されたものがスライドに表示されます。

【必要なもの】PC (PowerPoint 及び専用ソフトをインストールしたもの)、クリッカーの受信機・送信機 (貸し出しています)



回答の集計結果(横棒グラフ)



学生が回答時に使う送信機

PowerPoint の機能追加で簡単スライド作成

専用ソフトをインストールすることで、PowerPoint に新しい機能が追加され、簡単にスライドが作成できます。回答の集計を表示するグラフも、棒グラフだけではなく、3D円グラフやドーナツ型グラフなど、用途によって選ぶことができます。



縦棒グラフ



3D円グラフ



ドーナツ型グラフ

クリッカーの貸出方法

愛媛大学では、教育・学生支援部 教育企画課能力開発室 教育企画室スタッフルーム及び先端研究・学術推進機構 総合情報メディアセンター 教育デザイン室にて貸し出しています。ご利用については、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ

愛媛大学 教育・学生支援部 290 台まで対応
教育企画課能力開発室 教育企画室スタッフルーム
◆電話：089-927-8922 ◆メール：info@iec.ehime-u.ac.jp

愛媛大学 先端研究・学術推進機構 60 台まで対応
総合情報メディアセンター 教育デザイン室
◆電話：089-927-8978 ◆メール：idoffice@stu.ehime-u.ac.jp

COLUMN

アナログ版クリッカー 「Yes」「No」うちわ

片面毎にそれぞれ「Yes/1」「No/2」と印刷されたうちわも作られており、アナログ版クリッカーとして使用されています。「Yes」か「No」で答えられる質問や、二択問題に適しています。この方法は、例えば表裏でデザインの違いテキストなど、身近なものでも応用できます。学生も、意思表示の方法として「手を挙げて」だと「恥ずかしい」「周りの人に答えを知られたくない」という不安がありますが、この方法であれば、誰がどの回答をしたのか分からないため、意思表示がしやすくなります。



Yes/1の面



No/2の面

※情報提供：日本高等教育開発協会
※愛媛大学での貸し出しは行っていません

教育デザイン室

総合情報メディアセンター 1F に、教育デザイン室が OPEN しました。ICT (Information and Communication Technology: 情報通信技術) を活用した授業構成の見直し、コンテンツ制作のサポート、講義などの撮影、eラーニングの運用サポートなどを行います。



私たちがサポートします!

教育デザイン室のしごと

こんな時に!

- eラーニングを活用してみたいが、どうすればいいかわからない
- 動画を編集したいが、やり方がわからない
- Moodle を利用してみたいが、使い方がわからない



授業科目担当者へのICTを活用した教育支援

インストラクショナル・デザイン (ID / 教育設計) の手法をもとに、ICT を活用した授業構成の見直し及び授業をより効果的・効率的・魅力的なものにするための授業設計の支援を行います。



コンテンツの開発・制作支援

シラバスや講義資料などをもとに、資料の効果的な提示方法のご提案、教材のブラッシュアップ、講義の撮影・編集など、eラーニングコンテンツの制作支援を行います。



eラーニング運用サポート

コンテンツ公開後も、使い方がわからないなど困った時でも、スムーズに運用できるようにサポートします。また、学内ネットワーク環境や Moodle システムの改善など、ICT を利用しやすい学内環境の整備を提案していきます。



ICT研修会の開催

「eラーニング入門」「効果的なeラーニングの活用方法」など、eラーニングに関する研修を行います。また、Word、Excel、PowerPoint などの研修会開催、ICT 活用教育事例の紹介など、利用者の ICT 利用に関するスキルアップを支援します。